



## 新着案内



『逃げる田中』	石川 宏千花/作	光村図書出版	T/イヒ
『ビバリウム Adoと私』	小松 成美/著	KADOKAWA	T/コナ
『和のなるほど図鑑』	みっけ/著	インプレス	T031/ミツ
『13歳からの図で考える問題解決』	平井 孝志/著	東洋経済新報社	T141/ヒタ
『明るい夜に、星を探して』	酒村 ゆっけ、/著	KADOKAWA	T293/サユ
『植物園の歩き方 きれい、心地よい、愛おしささまざまな「うつくしい」を求めて』	カシワイ/著	グラフィック社	T470/カシ
『かぎ針で編むブライスのクラシカルスタイルBook』		日本ヴォーグ社	T594/カキ
『羽田空港をとことん楽しむ! 日本一の空港を遊び尽くす!』		宝島社	T687/ハネ
『ギユスターヴくん』	ヒグチ ヌウコ/著	白泉社	T726/ヒユ
『人生がちよっとよくなる文章術』	斉藤 洋/著	講談社	T816/サヒ
『読むためのレッスン 小説はこんなふうに行っている』	菅原 克也/著	岩波書店	T901/スカ
『やりたいことが見つかる世界の果てのカフェ』	ジョン ストレルキー/著	ダイヤモンド社	TF/スシ



## ティーンズのココロ通信

山口市立中央図書館 269号

令和8年5月1日 発行

〒753-0075 山口市中園町7-7

Eメール: info@lib-yama.jp

TEL: 083-901-1040

HP: https://www.lib-yama.jp

FAX: 083-901-1144



# いやし



今月のテーマは「いやし」です。

新学期がはじまり、1ヶ月が経ちました。

新しい生活はいかがですか？

少し緊張も解けてきた頃だと思います。

読書を通して、リラックスして、これからの生活を楽しんでいきましょう。



●『あさになったのでまどをあけますよ』

荒井 良二／著 偕成社 E／アリ

どれだけ悲しくても、どんなに落ち込んでいても、朝は毎日やってきます。ページをめくるとそこに広がるのは山の朝、都会の朝、田舎の朝……。どの朝も明るい朝の光があふれていて、昨日とは違う新しい一日の始まり、希望を感じます。見開きで1枚の風景画を見ているような贅沢さがあり、眺めていると知らず知らず心が癒されます。「あさになったのでまどをあけますよ」の言葉の繰り返しも心強い。2011年3月の東日本大震災を思っって作られた作品です。(H.S)

●『意外と知らない鳥の生活』

piro piro piccolo／著 KADOKAWA T488／ヒロ

みなさんは鳥たちに癒されたことがありますか？この本は、スズメ、カラス、ハトなど街中で見かける鳥たちの隠れた素顔が漫画で紹介されています。鳥に関する豆知識も提供しています。タイトルどおり<意外と知らない>事が多く、「へえ〜」「ほお〜」「そうなんだ」と楽しく学べます。特に鳥たちの表情やしぐさが可愛いし、擬音が面白いです。フルカラーで身近な鳥たちの生態が楽しめる本。世代を問わず楽しめます。皆さんも可愛い鳥たちに癒されてください。(C.M)

●『はなと学ぶパンダに会いに行くための中国語』

はな／著 白水社 T827／ハナ

2026年2月を最後に日々の癒しをくれていたパンダが中国へ返還され日本からいなくなりました…。会うためには中国に行くしかない！そのために必要な中国語が学べるこの本。実際に中国に“推しパン”に会いに行った著者の経験をもとに、案内係やパンダファン、飼育員との会話などの“パン活”フレーズが100通り以上紹介されています。QR コードを読めば該当箇所の音声も聞けて学びやすく、しかもかわいいパンダの写真やイラストもあるので楽しく学べること間違いなしです！(K.O)

●『神の蝶、舞う果て』

上橋 菜穂子／著 講談社 T／ウナ

カタゼリム  
降魔士の少年ジェードは相棒の少女ルクランと共に、聖域「闇の大井戸」から舞い上がる神の蝶を魔物から守る仕事をしていました。しかしルクランには出生にまつわる秘密があり、そのせいで仕事はいつも失敗続き。悩む二人でしたが、やがてルクランの秘密と闇の大井戸の秘密が結びつき全ての謎が解き明かされます。疲れた時は現実を忘れて物語の世界にトリップするのも自分を守る一つの方法だと思えます。ぜひ上橋さんのファンタジーの世界を堪能して下さい。(H.S)

●『西の魔女が死んだ』

梨木 香歩／著 新潮社 T／ナカ

学校に行けなくなってしまった中学生のまいは、イギリス人のおばあちゃんと田舎でひと夏をすごすことになる。何とおばあちゃんは西の魔女と呼ばれている。感受性豊かなまいを優しく包んでくれるおばあちゃん。そんなまいは、おばあちゃんに出会って、自然の中で丁寧な暮らしをしていくことにより、次第に成長していく。心が疲れそうになった時、自分を見失いそうになった時、そっと味方になってくれるような癒しの名作です。(C.M)

●『友達のアヒルのぴーちゃん』

友達／著 KADOKAWA T646／トモ

山奥の森をノコギリやオノで、何年もかけて切りひらき、自分で設計して建てた小屋に住んでいる著者。隣人として同じように山小屋で暮らしている友達のアトウと、アトウが飼っているアヒルのぴーちゃん。不便なところもあるけど、山奥でのスローライフを楽しくにぎやかに暮らしている様子を描いたコミックエッセイ。絵柄が何とも言えない味を出していて、何気ない一日を楽しく読むことができます。アヒルのぴーちゃんが自由でとてもかわいく癒されます(\*^-^\*) (K.O)